

ポスター発表一覧

フィールド1 科学的知見(地球温暖化を正しく理解する)

ポスター No.	タイトル	著者	所属機関
P1-01	複数の20km地域気候モデルの実行による力学ダウンスケーリングの研究	○大楽浩司、飯塚聡、佐々木亘	(独)防災科学技術研究所
P1-02	西部北太平洋における海洋二酸化炭素データ統合解析	○鶴島修夫、原田晃、渡辺豊(北海道大学)	(独)産業技術総合研究所
P1-03	小笠原諸島父島で観測される人為起源エアロゾル粒子の特徴	○古賀聖治、前田高尚、兼保直樹	(独)産業技術総合研究所
P1-04	冷温帯落葉広葉樹における大気中CO ₂ 濃度および安定同位体比の長期観測	○村山昌平、三枝信子、近藤裕昭(産総研) 山本晋(岡山大学)	(独)産業技術総合研究所
P1-05	フラックス・プロセス観測による冷温帯落葉広葉樹林の炭素収支量の年変動解析	○三枝信子、大塚俊之(茨城大)	(独)産業技術総合研究所
P1-06	温暖化による日本付近の詳細な気候変化予測に関する研究 【温暖化特研】	○鬼頭昭雄 行本誠史	国土交通省 気象庁気象研究所
P1-07	日中共同研究ADECの概要と成果	○三上正男	国土交通省 気象庁気象研究所
P1-08	定期航空機を利用した温室効果気体観測	○松枝秀和、町田敏暢(環境研)、澤庸介	国土交通省 気象庁気象研究所
P1-09	国立環境研究所地球温暖化研究プログラム中核研究プロジェクト1「温室効果ガスの長期的濃度変動メカニズムとその地域特性の解明」平成18年度の成果の紹介	○向井人史、高橋善幸、梁乃申、町田敏暢、白井知子、シャミル・マクシュートフ、野尻幸宏、遠嶋康徳、横内陽子、荒巻能史、唐艶鴻、谷本浩志	(独)国立環境研究所
P1-10	国立環境研究所地球温暖化研究プログラム中核研究プロジェクト2「衛星利用による二酸化炭素等の観測と全球炭素収支分布の推定」平成18年度の成果の紹介	横田達也、シャミル・マクシュートフ、松永恒雄、○森野 勇、小熊宏之、日暮明子	(独)国立環境研究所

フィールド2 影響、適応、脆弱性(地球温暖化の影響を予測し、対応する)

ポスター No.	発表タイトル	発表者	所属機関
P2-01	「台風災害の長期予測に関する研究」 ー将来台風による災害危険度予測ー	○松浦知徳、岩崎伸一、鈴木真一、飯塚聡、佐々木亘	(独)防災科学技術研究所
P2-02	「台風災害の長期予測に関する研究」 ー台風災害データベースと沿岸災害危険度マップー	○栢原孝浩、下川信也、岩崎伸一	(独)防災科学技術研究所
P2-03	「近年における日本の雪とその変動」	○阿部 修	(独)防災科学技術研究所
P2-04	「木造7階建物の耐震実験」 ー人工林の秩序ある利用のためにー	○箕輪 親宏	(独)防災科学技術研究所
P2-05	「高感度地震観測網(Hi-net)の地中温度プロファイルに見られる気候変動の影響」	○松本拓己	(独)防災科学技術研究所
P2-06	大気CO ₂ の増加で農作物と農業生態系はどう変化する?	○長谷川利弘、吉本真由美、酒井英光	(独)農業環境技術研究所
P2-07	農業水利用を考慮した新しい大陸スケールの水循環モデルの開発	○石郷岡康史	(独)農業環境技術研究所
P2-08	広域収量予測モデルを用いた気候変動が日本の水稻生産に及ぼす影響	○横沢正幸、西森基貴、飯泉仁之直	(独)農業環境技術研究所
P2-09	世界の水田から発生するメタンの新しい算定方法	○八木一行	(独)農業環境技術研究所

P2-10	田畑輪換栽培圃場からのメタン・亜酸化窒素の発生	○西村誠一	(独)農業環境技術研究所
P2-11	温暖化による森林の分布適域の変化予測	○田中信行、松井哲哉	(独)森林総合研究所
P2-12	海産魚類養殖に及ぼす温暖化の影響～養殖マダイをモデルとして～	○安藤 忠、奥宏海、阿保勝之、奥澤公一、伊藤文成	(独)水産総合研究センター
P2-13	温暖化に対応した冷水性魚類の放流技術の開発～ニンジン栽培漁業をモデルとして～	○大河内裕之、村上直人、長倉義智	(独)水産総合研究センター
P2-14	温暖化が藻場に及ぼす影響の評価と予測	○吉村 拓、山田秀秋、坂西芳彦、川俣茂・桑原久実、寺脇利信、吉田吾郎、樽谷賢治、野田幹雄・村瀬昇(水産大学校)	(独)水産総合研究センター
P2-15	GEO Grid	○GEO Grid	(独)産業技術総合研究所
P2-16	気候変動に適応した治水対策	○石神孝之	国土交通省 国土技術政策総合研究所
P2-17	全国港湾海洋波浪観測網による波浪観測と波候の長期トレンド	○永井紀彦・清水勝義・佐々木誠	(独)港湾空港技術研究所
P2-18	近年の港内静穏度の低下の事例	○平石哲也	(独)港湾空港技術研究所
P2-19	平均海面上昇と台風強化による高潮の出現特性の変化の試算	○河合弘泰	(独)港湾空港技術研究所
P2-20	監視カメラを用いた海岸の長期モニタリング	○鈴木高二朗	(独)港湾空港技術研究所
P2-21	波浪推算による波浪データベースの構築と波浪の出現特性の解明	○川口浩二	(独)港湾空港技術研究所
P2-22	水関連災害の増加を防止するためにアジア太平洋地域で今何が必要か？～第1回アジア太平洋水サミットにおける議論～	○三宅且仁	(独)土木研究所
P2-23	発展途上国における洪水災害軽減を支援するための総合洪水解析システム(IFAS)開発	○杉浦友宣	(独)土木研究所
P2-24	河川流域スケールからみたGCM予測計算値の検証～四国吉野川流域での事例～	○猪股広典	(独)土木研究所
P2-25	国立環境研究所地球温暖化研究プログラム中核研究プロジェクト3「気候・影響・土地利用モデルの統合による地球温暖化リスクの評価」平成18年度の成果の紹介	江守正多、高橋 潔、小倉知夫、伊藤昭彦、山形与志樹、岩男弘毅、岡田直資、木下嗣基、○塩竈秀夫、清野達之、長谷川聡、横畠徳太、長友利晴、増富祐司、野沢 徹、日暮明子、永島達也、原沢英夫、脇岡靖明、花崎直太	(独)国立環境研究所

フィールド3 気候変動の緩和策(地球の変化を和らげる)

ポスター No.	発表タイトル	発表者	所属機関
P3-01	輸送機器軽量化に向けたマグネシウム合金の高強度・高靱性化	染川 英俊、Alok Singh、○向井 敏司	(独)物質・材料研究機構
P3-02	CO ₂ 削減を可能にする超耐熱材料ー(1)航空機エンジンの高効率化	原田 広史、○横川 忠晴	(独)物質・材料研究機構
P3-03	CO ₂ 削減を可能にする超耐熱材料ー(2)発電ガスタービンの高効率化	原田 広史、○横川 忠晴	(独)物質・材料研究機構
P3-04	超超臨界圧火力発電プラントの高効率化のための高クロム耐熱鋼の開発	○田淵 正明	(独)物質・材料研究機構

P3-05	高精度寿命予測による発電プラントの高効率化と信頼性の向上	○木村 一弘	(独)物質・材料研究機構
P3-06	高効率なエネルギー利用を支える高性能で安全な全固体リチウムイオン二次電池	○高田 和典	(独)物質・材料研究機構
P3-07	透明導電性 β -Ga ₂ O ₃ 単結晶基板を用いた高効率LEDの開発	○島村 清史、E. G. Villora	(独)物質・材料研究機構
P3-08	強誘電体フッ化物単結晶を用いた全固体紫外レーザーの開発	○島村 清史、E. G. Villora	(独)物質・材料研究機構
P3-09	ナノ構造化燃料電池材料の創製 —燃料電池の普及・促進を可能にする、燃料電池用固体電解質材料設計—	○森 利之、金 濟徳、葉 飛、区 定容	(独)物質・材料研究機構
P3-10	ナノ構造化燃料電池用電極材料の設計に関する研究	○森 利之、高橋 基	(独)物質・材料研究機構
P3-11	日本の森林のCO ₂ 吸収量を算定する国家森林資源データベース	○松本光朗、竹内 学	(独)森林総合研究所
P3-12	森林セクターにおける温暖化緩和策	○石塚森吉、外崎真理雄	(独)森林総合研究所
P3-13	木質系バイオマスの全体利活用技術の開発	○山本幸一、大原誠資	(独)森林総合研究所
P3-14	荒漠地でバイオマス資源生産を可能にする植林技術	○田内裕之、篠原健司、齊藤昌弘(三重大)	(独)森林総合研究所
P3-15	漁船漁業における省エネルギー対策	○伏島一平、○山下秀幸	(独)水産総合研究センター
P3-16	温暖化評価指標の開発 —代替フロンへの適用—	○関屋 章、岡本小百合、川井 華	(独)産業技術総合研究所
P3-17	環境影響評価のためのLCAソフトウェアの開発	○田原聖隆、小林光雄、匂坂正幸、稲葉敦	(独)産業技術総合研究所
P3-18	住宅の省エネルギー化に係る通風技術の最新研究成果	○西澤 繁毅	国土交通省 国土技術政策総合研究所
P3-19	建物緑化による外部空間での温熱環境改善効果	○鈴木弘孝	(独)建築研究所
P3-20	温度低減舗装	○川上篤史	(独)土木研究所
P3-21	過給機を使った加圧流動炉の下水汚泥燃焼実験	○落 修一	(独)土木研究所
P3-22	国立環境研究所地球温暖化研究プログラム中核研究プロジェクト4「脱温暖化社会の実現に向けたビジョンの構築と対策の統合評価」平成18年度の成果の紹介	甲斐沼美紀子、亀山康子、藤野純一、花岡達也、○芦名秀一、LEE, huey-Lin、原沢英夫、増井利彦、日引聡、小林伸治、脇岡靖明、松橋啓介、久保田泉、XU Yan、森口祐一	(独)国立環境研究所